



姫路獨協大学同窓会会報

創刊号

発行所 姫路市上大野 7-2-1 姫路獨協大学同窓会

TEL 0792-23-9263 FAX 0792-23-6513

ホームページアドレス <http://www.himeji-du.ac.jp/dosokai/dosokai-index.html>

同窓会報発行にあたって



同窓会長

武本 錠治

同窓生の皆様、暑中お見舞い申し上げます。この度、念願の会報を創刊でき、皆様にご挨拶する機会を得られましたことを大変うれしく思います。この紙面をお借りし、同窓会設立の経緯について説明させていただきます。

姫路獨協大学は、昭和62年4月に開学しました。1期生は何かも初めての体験ばかりで、4年間を過ごしました。そして、卒業を目前に控えた平成3年3月、各学部(当時は外国語学部、法学部の2学部)の有志が集まり、同窓会設立準備委員会を結成し、苦勞しながらも同窓会発足にまでこぎつけました。しか

し、社会人1年生の1期生のみ
の運営では母校を顧みる余裕は
なく、経験不足も重なって十分
な同窓会活動ができないまま
いました。なかでも、1期生卒業
以来、同窓生の所在を把握でき
ていないという事実は、大変残
念なことです。一昨年の阪神淡
路大震災では、同窓会として同
窓生の安否確認や被災状況の把
握が困難で十分な対応ができず
苦い経験をしました。このこと
からも、同窓会が果たす役割の
重要性を再認識すると共に、今
後、早急に組織・運営を確立し
ていきたいとの思いを強くしまし
た。

今年、姫路獨協大学は、記念す
べき創立10周年の節目を迎えま
した。そこで、これを機に総会の
開催、会報の発行、名簿の作成・
管理等を主な内容とし、同窓会
活動を活発にしていきたいと思
います。すでに大学からも同窓
会室や備品等をお借りし、運営
委員会や各委員会を開催し、今
後の活動について意見交換をし
ていきますので、皆さんも意見
ご要望等ありましたら、お気軽
に同窓会までご連絡ください。

なお、名簿作成のため、すでに
調査カード等がお手元に届いて
いることと思います。住所不明
になっている同窓生の消息をご
存知の方は情報をお寄せくださ
い。
最後になりましたが、姫路獨
協大学で共に過ごした同窓生の
皆様、同窓会活動を充実させる
ために同窓会へのご理解、ご
協力及びご支援のほどよろしく
お願い申し上げます。また、この
会報発行に際し、多忙にもかかわらず
ご執筆いただいた皆様、
大学関係者の皆様、多大なご協
力ありがとうございました。心
より大学と同窓会の発展を祈念
して…。

同窓会報創刊に想う



学 長

野口 名隆

業生名簿作成に着手することも
出来なかつた。さらにその後阪
神大震災もあり、同窓会事務は
中断のまま今日に至った。

姫路獨協大学の同窓会は、実
は第1回卒業式の日に結成され
た。この日、卒業生有志によっ
て、規約も決定され、会長その他
の役員も選任されていた。しか
し役員たちはその直後各々の職
場に散り、同窓会事務を行う場
所も未決定のまま、役員たち
が会合する機会も殆どなく、卒
君の御苦勞に感謝したい。

昨年、創立10周年を迎えるに
当たり、各々多忙の中を役員諸
君が何回も集まり、同窓会組織
に不可欠の名簿作成の計画を練
り、面倒な名簿作成に乗り出し
てくれた。大学側も会議場所の
提供、連絡事務や会報創刊事務
を担当する職員の配置など協力
の態勢を整えてきた。この間、
先輩格の獨協大学同窓会長の加
藤さんからも御助言や資金カン
パなどの御支援をいただいた。



今回卒業生と母校の橋渡しとして同窓会会報が発行される運びとなった。本学では平成3年以來すでに6227名の卒業生が社会に巣立ち、各界の中堅として活躍中である。大学も10年を経過すると自ら独自の校風ともいえるべきものが生まれる。そして卒業する時には大学の校風にもなじみ、本学の出身者らしい雰囲気と考え方を身につけていくものである。本年初めに行った学生アンケート調査では本学の学風の最大の特徴は「自由」であるという回答が圧倒的に多かった。いうまでもなく「自由」にはその反面「自己規律と自己責任」が伴うべきであり、卒業生諸君は本学卒業生としての自覚と誇りを以て身を処し、後輩に範を垂れてくれるものと信じている。大学は着実に前進しており、その状況は今後会報を通じて諸君にお伝えできると思う。卒業生諸君もまた近況など便りを会報宛に寄せてほしい。会報が大学と卒業生の、また卒業生間の絆を一層深めるものとして役立つことを期待する。

Information

— 平成9年10月26日（日）開催 —

総 会

時間 午後1時～ 学生会館にて
 内容 今後の同窓会について
 (規約改正・事業計画・会計報告等)

懇親会

時間 午後4時～ 教職員食堂にて

当日は立食形式で行います。学生時代を思い出し、懐かしい仲間と楽しいひとときをお過ごしください。多数のご参加をお待ちしています。

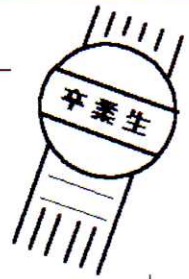
*お手数ではございますが、出欠の有無を同封の葉書にて、平成9年10月10日（金）までにご回答ください。
 (FAXでの回答も可)

しょうさい
「志湧祭」(今年のテーマ“ええじゃないか”)
 平成9年10月24日（金）～10月26日（日）

10周年を記念した大イベント、The HIGH-LOWS
 によるライブコンサートなど多数企画中

第1回総会 同窓生のつどいに どうぞ

平成3年3月、記念すべき第1回卒業式当日に「同窓生の親睦及び母校への後援」を主な目的とし、姫路獨協大学同窓会は誕生しました。
 当初、607名で船出した同窓会も現在では、6000名を超える同窓生の集まりとなりまして、同窓会自体の現状は、その目的どおりにうまく機能しているとはいえませんが、本学創立10周年を機に同窓会を活性化させるべく今回第1回総会を開催し、同窓会再起動の年としたいと思います。
 なお、総会終了後には、懇親会も予定しています。また、当日は、「志湧祭」開催期間中でもありますので、緑溢れるキャンパスの中で、久しぶりに学生気分を満喫し、リフレッシュするのでもいいのではないのでしょうか。是非、お誘い合わせの上、母校まで足をお運びください。



卒業生だより

「大学を卒業して四年…今」

午前六時起床、七時出社、一日が始まる。家業の材木屋を手伝い始めて朝は早くなった。大学を出て、三年間勤めていた某会社のサラリーマン生活に終止符を打って、生まれ故郷に戻ってきた。材木屋であるだけに、汗とほこりにまみれた環境は当たり前、いわゆる3Kの部類に入るだろう。

この町を出る時は、一度と帰ることはないかもしれないと思っていたが、やはり長男という宿命から逃れられず、父の後を継ぐべく改めて勉強の日々を送っている。先日、一日中材木を担いで、走り回っていると、夜になって疲労からか、肩が外れて痛みで寝られないほどだった。小学校の頃から武道を続けていて体力には自信があっただけにショックだった。どちらにしても、こんなハードな仕事にもかかわらず、割と苦にならないのは、やはり幼少の頃からこの空気の中で育ってきたからだろう。

大学で唐手道部という中国伝統武術の部をつくり、四年間選手生活と後輩達の育成に努め、今でも月一〜二回は、必ず大学に戻って指導に動いている。地元では、小学校の頃から通っていた町道場で指導員として活動している。両親にとっては、仕事一本に集中してもらいたいのが本音だろう

が、私にとって唐手道がライフワークに欠かせない一部となっているため、黙認してくれている。

試合があれば、全国どこへでも赴き、姫路獨協大学の学生選手達の激励と試合の研究に努めている。また海外での国際大会にも年一度出席している。

今は選手活動は控え、専ら指導のみで終始しているが、いつでも大会に出場できるように毎日のトレーニングは欠かしていない。仕事をしている分、時間は限られているが、内容濃く集中してでき、仕事のストレス発散に役立っている。

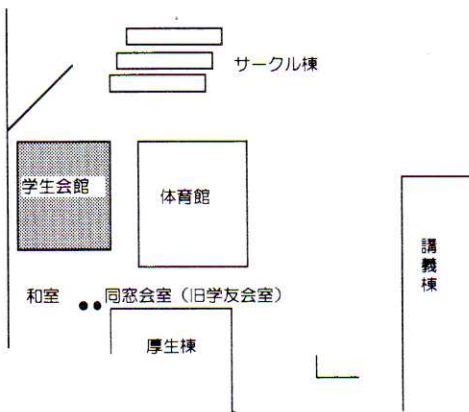
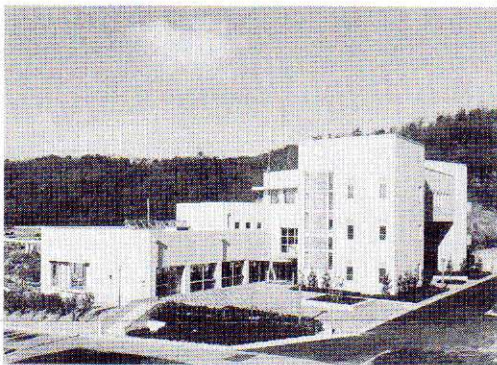
いつか唐手道が、日本だけでなく世界中でメジャーとなり、中高高校生が憧れる武道、又スポーツとなつて、若者たちの精神教育として貢献できることを夢見て、この活動に尽力している（この唐手道が我が母校姫路獨協大学の発展に多少なりとも役立つことも期待している）。大学の友人達が、日々大人となつて逞しく成長しているにもかかわらず、私はいまだ夢を追いつける青臭い若造のままであることは、多少恥ずかしい思いを禁じ得ないが、今のところ、こういう生き方しかできず、一生夢を追いつけていこうと思う。

（平成五年中国語学科卒・藤原弘喜）

学生会館

学生会館は体育館の西隣に平成8年1月に完成した。1階は喫茶コーナー、ラウンジになっており、授業の合間にくつろいだり軽食などがとれる。2階は自習室、会議室等があり、学友会室も完成と同時に和室西隣からこちらへ引越をした。3階は約200名収容のホールになっており吹奏楽部の演奏会、落語研究会の寄席、様々な講演会などに利用されている。

★施設紹介



駐車場

大学と道を隔てて西側に市営の駐車場ができたのは今から約4年前になる。駐車場は350台の収容能力を持っており2000円で駐車できる。支払いは全てプリペイドカードで、現金は受け付けられないシステムとなっている。プリペイドカードは大学内の売店にて、2000円 1回分、2000円 11回分、4000円 22回分の3種類を販売している。プリペイドカードは他の市営駐車場でも使用可能となっている。



OBも活躍中! クラブ訪問 吹奏楽部

今年、姫路獨協大学は創立10周年を迎え、我が吹奏楽部も大学と共に創部10周年を迎えました。現在、部員数は約40名とまだまだ小さなバンドですが、週3〜4回の練習で部の発展やバンドの向上を目指すと同時に、我が部の活動で大学がますます発展していくことを願って頑張っています。

8月上旬の兵庫県吹奏楽祭兼コンクールと3月上旬の定期演奏会を中心に、獨樂祭・志湧祭などの学内行事や西播吹奏楽祭といった地域行事、学友会主催のクラブ紹介、吹奏楽部単独での学内演奏など、積極的にさまざまな行事に参加しています。また、依頼演奏にも応じるなど、常に前向きに活動しています。今年新しくできたサークル棟Cの107を部屋とし、また打楽器など大きな楽器

もより良い環境で管理するため、同じくC棟101も使用しています。おかげで、湿度差・湿気などが原因の楽器の故障も少なくなり、有り難く思っています。部員達はとても仲が良く、ひとつひとつの舞台に向けて、部員全員が一丸となった音楽作りを目指し、努力しています。また、OBは月1回、合奏中心に活動しています。現役生とのコミュニケーションの音楽を通じ、社会人(大人)の音楽を目指し、現役・OBが共に音楽性の向上を図ればと願っています。昔懐かしい仲間や、一緒に音を交えたことのないOBと合奏するのも楽しいことです。姫路近辺のOBを中心に今後永く活動を続けていくつもりですので、より多くのOBに参加していただきたいと思っています。

これからも、部員一同一丸となつて、「集中力と自主性を高める場」で「リラックスできる場」でもある我が部の理念「音楽を通じての人間形成」を行い、人間性・社会性などの向上を目指して頑張っていきますので、今後とも何とぞご指導・ご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

おねがい

- ※住所・氏名・電話番号等の変更がございましたら、その都度同窓会までご連絡願います。
- ※同窓会報へのご寄稿をお願いします。思い出話、近況報告など、テーマは自由。お待ちしております。

掲示板

※かねてより念願の同窓会名簿いよいよ10月発行予定。
※創立10周年記念論文コンクールにぜひ応募を(詳細は10周年記念事業ニュースをご覧ください)。
※今年度より国際センター、地域センター、人間科学センター及び言語研究所のサービス機能の一つになり、国際・地域交流センターに生まれ変わりました。公開講座、語学講座へのお問い合わせはこちらへどうぞ。
(TEL 0792・23・9156)

編集後記

◇ふー！やっとなんか来れました。初めてということもあり、この1号を発行するまで何回集まって話し合ったことか。でも嬉しいですね。みなさん、この会報にいい名前つけてくださいな。
紫陽花や、想い出多き、わが母校(晶)
◇見切り発車をしている同窓会。問題は山積みですが、皆さんと一緒に解決していきましょう。同窓会の存在を知らない同窓生がいなくなることを願って、会報発行を実現しました。やっとなんか！
(誓)
◇皆様、いかがお過ごしでしょうか。多くの人たちとのふれあいの中で生まれたこの会報が私たち同窓生にとって一つの心通わせ合う身近な手段となり、同窓の輪がますます広がっていくことを願って。(直)
◇同窓会に関わるようになって色々な方に出会えたこと、とても嬉しく思います。そして、この会報を作りながら、学生時代のみんなの顔が浮かんできました。元気ですか？会いたいな。(知)
◇生まれたばかりのヒナがよちよちと歩き出したという感じです。何度も挫折しそうだったけど、やはり同窓生の絆は強い！とうとうここまで来ました。後は前進あるのみ。疎遠になっている人も総会には、ぜひ顔を見せてくださいな。(咲)